

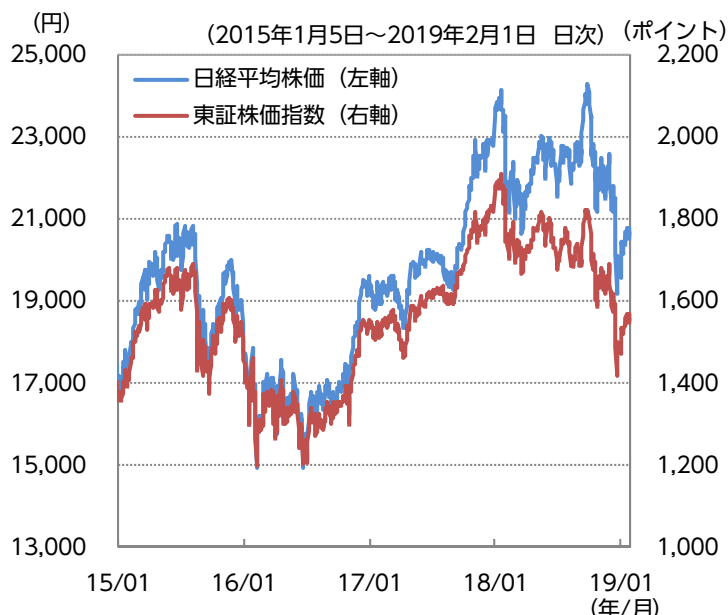
週間市場レポート

(2019年1月28日～2月1日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■ 日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。週初は、これまで上昇が目立っていたディフェンシブ（景気の動向に企業業績が左右されにくい）銘柄を中心に売りが優勢となりました。その後は、米連邦準備制度理事会（F R B）が、追加利上げや保有資産圧縮について慎重な姿勢を示したことなどが好感され上昇基調となり、前週末とほぼ同水準で取引を終了しました。（週末引け値：20,788.39円）

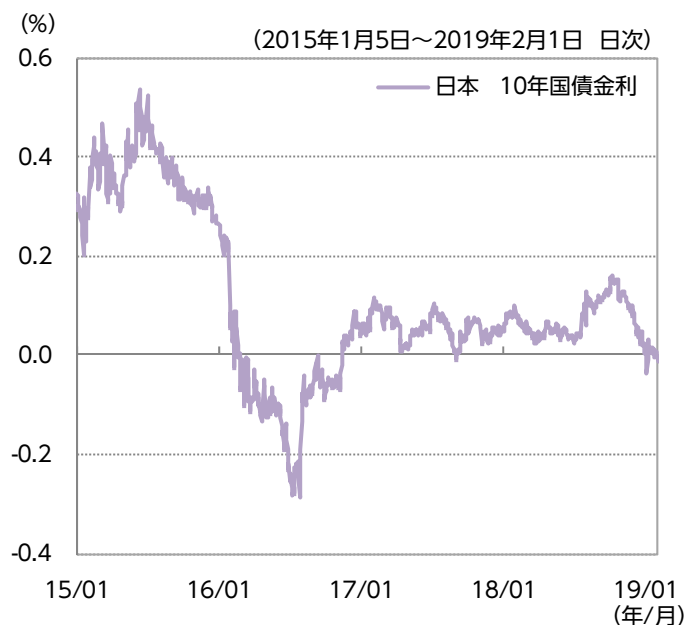


■ 週間では、日経平均株価は0.07%の上昇、東証株価指数は0.09%の下落でした。

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

■ 日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で低下となりました。F R Bが、追加利上げや保有資産圧縮について慎重な姿勢を示したことなどを受け米国債券が上昇（利回りは低下）したことが、日本債券にも波及しました。（週末引け値：-0.012%）。



■ 週間では、0.009%の低下となりました。

出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で上昇となりました。中国景気の減速により米主要企業の収益が圧迫されたことを受け、週初は下落したものの、F R Bが、追加利上げや保有資産圧縮について慎重な姿勢を示したことなどを受け、株式は概ね買われる展開となりました。
（週末引け値：25,063.89ドル）
- 週間ではNYダウは1.32%の上昇となりました。

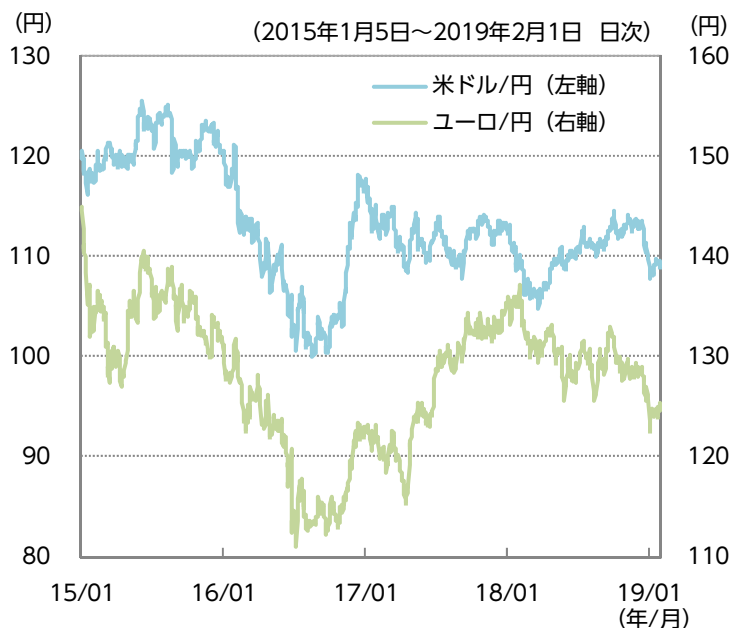


出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 米ドル/円相場は、前週末比でほぼ横ばいとなりました。F R Bが、追加利上げや保有資産圧縮について慎重な姿勢を示したことなどを受け、日米金利差の縮小を意識した円買い米ドル売りが優勢となりました。週末は、良好な米雇用統計を受け米ドルが買われ、前週末とほぼ同水準で取引を終了しました。（週末引け値：109円45銭～55銭）
- 週間では米ドル/円は0.05%の円高、ユーロ/円は0.43%の円安となりました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮していませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>